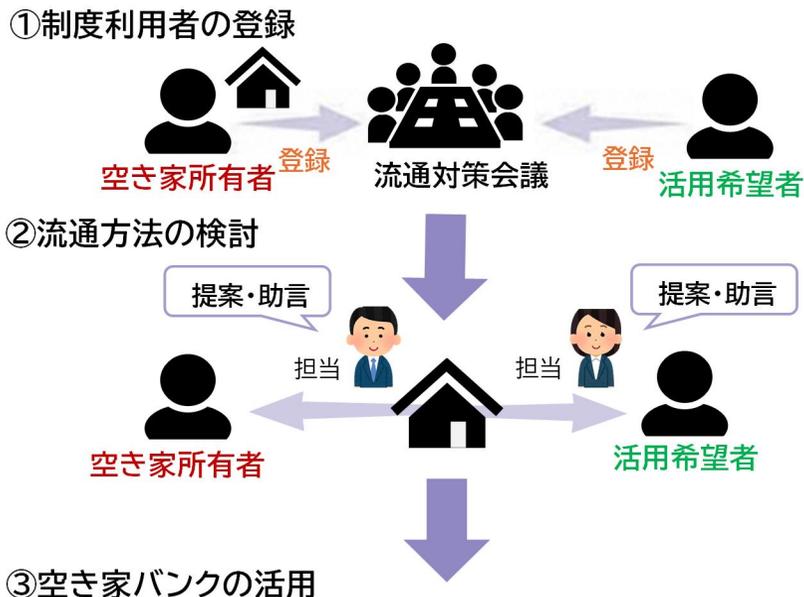


現行



- ① 空き家を閲覧するためには登録が必要
・閲覧者は登録者に限る。活用者も見つかりにくい
- ② 登録空き家は「不良空き家」が多い
一方、活用希望者は「便利で格安の物件」を希望
・両者の希望に開きがあり、マッチングの可能性が低い
・担当アドバイザーが別々の人のため、連携が図りにくい

改善案

空き家バンクで物件情報を発信

物件情報を迅速に、広い範囲へ周知することが可能に！

- ①オンラインでの閲覧が可能
 - ・物件情報を閲覧するための活用希望者登録が不要になる
 - ・活用希望者へアドバイザーを付けることが必須でなくなり、市およびアドバイザーの負担が減る
- ②オンラインから直接交渉が可能
 - ・活用希望者が直接アドバイザーに連絡ができるため、迅速なマッチングが可能
- ③一般に公開されるため、マッチング件数が増える

条件に合う物件かな

今後の検討案

活用希望者のニーズを発信

登録外の所有者からもマッチングが可能に！

- ①空き家所有者からのアプローチが可能
 - ・空き家所有者から能動的に活用希望者を探すことが可能
- ②眠っている空き家の掘り起こし
 - ・活用希望者のニーズが公開されることで、未登録空き家が流通の対象として考えられるきっかけになる
- ③担当アドバイザーがマッチングを支援する
 - ・アドバイザーから個別に情報を受け取ることが可能

条件に合う
買い手・借り手かな